

9月定例議会

マニフェスト大賞躍進賞を受賞 令和5年度決算の認定 7月の大雨災害対応の補正予算を可決



議会改革の決意を胸に

出席し、 の賞状をいた に佐藤議長が きました。 だきました。 された授賞式 東京都で開催 11 - 月15日に 記念

を合言葉に、政策提言や通年議会の導入に取り に選ばれました。 んだ結果、 本市議会は、「議会改革度80位からの大逆襲 議会改革度20位に上昇したこと を評価いただ



フェ

スト研究所が主催する政策コンテストで

地

方自治体の議会、

首長、

マニフェスト大賞とは、

早

稲田大学マニ

回マニフェスト大営

表彰するもので、

今回、 議

3千12件の

応募の中

本市議会が

会改革部門_

の

い躍進賞

民主主義向上に資する優

n

た取り組みを 市民による地





関係団体意見交

民生常任委員会 委員長 齋 藤

政策提言テーマ「少子化における幼児教育、保育のあり方」 について、 酒田市法人保育園・認定こども園連絡協議会の皆様と、酒田地区私 立幼稚園・認定こども園連合会の皆様との意見交換会を開催

> 意見交換会の中では、子どもたちの多様化、保 育士の確保、子育て支援拠点施設の更なる充実、 子どもたち皆同じにインクルーシブ*で手厚い対応 などをお聞きしました。

今後、予測される少子化の中で酒田市の強み である豊かな自然環境や食文化の中で、子どもた ちの健やかな成長と、保護者の皆様が安心して 子育てができる環境づくりを政策提言の参考にさ せていただきました。(9月20日、11月14日)

どもたちの笑顔のために



日頃の思いを熱く語る参加者

総務常任委員会 委員長 冨樫 覚 議員

政策提言テーマ「公共施設等の適正化」について、 市内公共施設の視察を実施

本市では、今後の厳しい財政状況に対応し、 持続可能な財政運営を行うため、平成27年3月 に策定した「酒田市公共施設適正化基本計画 | で定めた方針や削減目標に基づき、公共施設 の適正化に取り組んでいます。

議会としても議員間討議を重ね、公共施設 の適正化がより推進されるように政策提言を行 うため、現在使われていない施設を中心に管内 視察を実施しました。

視察により本市が抱える現状と課題を再確認 することができました。今後、さらに議員間討議 を重ね、効果的な政策提言につなげられるよう 調査研究を続けていきます。(7月5日、10月29日)



現在使われていない施設をどうしていくか

公共

大雨による災害へのお見舞い

り感謝申し上げます。 援や励ましの声をいただいていることに心よ 被災された皆様にお見舞いを申し上げます。 た方のご冥福を心からお祈りするとともに、 あらためて、この度の災害により亡くなられ 併せて、これまで市内外からたくさんの支 7月の大雨災害から約4か月が経ちました。

9月25日から10月18日までに延期しました。 の予定でしたが、災害対応を優先するため、 9月定例議会は8月2日から9月17日まで

友好市議会などから義援金

井町議会からも義援金をいただきました。 した。また、東京都武蔵野市議会と千葉県酒々 議会が本市をご訪問され、義援金をいただきま 交流のある宮城県大崎市議会と岐阜県海津市





海津市議会の皆様

月臨時議会

会議期間1日間 令和6年7月0日

審議された議案等

●市長提出案件 ……3件

令和6年度酒田市一般会計補正予算(第4

号)をはじめ、右記議案などを審議しました。 議で採決が行われた結果、可決されました。 議案は、予算特別委員会の審査を経て本会

8月臨時議

会議期間1日間 令和6年8月9日

審議された議案等

)市長提出案件 ………9件

決、同意されました。 審査を経て本会議で採決が行われた結果、可 号)をはじめ、右記議案などを審議しました。 議案は、各常任委員会、予算特別委員会の 令和6年度酒田市一般会計補正予算(第5

予算特別委員会

によるものでした。 接種に係る経費および袖浦排水機場の排水ポ 会計補正予算(第4号)を審査しました。 ンプエンジンの分解整備等に係る経費の計上 今回の補正は、新型コロナワクチンの定期 7月10日に議第66号令和6年度酒田市一般

で可決すべきものと決定しました。 審査の結果、原案を妥当と認め、 全会一致

常任委員会

件を審査しました。 8月9日に各常任委員会を開催 議案4

を審査しました。 議第70号酒田市税条例の一部改正につい 7

で可決すべきものと決定しました。 審査の結果、原案を妥当と認め、 全会一 致

(民生)

る条例の一部改正についてを審査しました。 で可決すべきものと決定しました。 審査の結果、 議第11号酒田市災害弔慰金の支給等に関す 原案を妥当と認め、 全会一 致

全会一致で可決すべきものと決定しました。 いてのほか、議第73号を審査しました。 議第22号酒田市営住宅条例の一部改正につ 審査の結果、 いずれも原案を妥当と認め、

予算特別委員会

よび議第6号を審査しました。 会計補正予算(第5号) 8月9日に議第67号令和6年度酒田 のほか、 議第68号お 市 般

付金の増額が主なものでした。 等購入費の支援に係る経費の計上、 経費の計上、低所得の高齢者世帯等への灯油 今回の補正は、 7月の大雨災害に伴う対応 市税の環

め すべきものと決定し れも原案を妥当と認 全 会 一致で可決 いず

審査の結果、



令和 会議期間 6年9月3日 1日間

審議された議案等

市長提出案件6件

令和6年度酒田市一般会計補正予算 (第6

可決されました。 の審査を経て本会議で採決が行われた結果、 号)をはじめ、右記議案などを審議しました。 議案は、総務常任委員会、予算特別委員会

常任委員会

2件を審査しました。 9月3日に総務常任委員会を開催 議

全会一致で可決すべきものと決定しました。 制定についてのほか、議第78号を審査しました。 の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の 審査の結果、 議第77号地方自治法の一部を改正する法律 いずれも原案を妥当と認め、

予算特別委員会

よび議第76号を審査しました。 会計補正予算 9月3日に議第4号令和6年度酒田市 (第6号)のほか、 議 第 75 , 号お

増額、 全会一致で可決すべきものと決定しました。 被害に対する補助金の計上が主なものでした。 旧に係る経費の計上、農業および林業の大雨 今回の補正は、大雨災害に伴う対応経 査の結果、 農林業用施設および公共土木施設の いずれも原案を妥当と認め、 費 復 0

かたコンポ」に

市からのお知らせや、災害時の防災情報などをLINEやメー ルで受け取れます。受信するためには市のコミュニ -タルサイト「さかたコンポ」へ登録しましょう。

市公式LINEの友だち追加を行い、LINEメ



https://sakata-city.jp/signinにアクセスし、 -ドを 新規登録画面からメールアドレスとパスワ 入力して登録を行います。



と意思疎通を図り進めていきたい。 ゾーニングの議論も始まっており、

令 和 会議期間 6年9月25 24 日 間 日~ 10 月 18 日

審議された議案等

)市長提出案件 ………

その他・・・・・・ ……2件

号)をはじめ、 令和6年度酒田市|般会計補正予算 右記議案などを審議しました。

別委員会の審査を経て本会議で採決が行われ 議案は、各常任委員会、予算および決算特

可決、

認定、

同意されました。

会派・団体の代表が、 市長提出の議案に関して、 疑問を問い確かめるもの。

9月3日に会派等の代表6人が 質疑と答弁の要旨は次のとおりです。 行いました。 市長提出議案に対する質疑では、

市民の会



武 け 田だ まけい **恵**けい 子こ 議員



田たなかひとし



未利用財産の活用と新たな財源の創 出は

る。 同建物全体の約59%を未利用財産が占めてい 5年度末現在で普通財産土地全体の約36% に未利用財産で有効活用できたものを伺う。 市長 令和5年度は土地建物とも0件で、 未利用財産の売却や貸付けを行っている 歳入確保の取り組みとして、令和5年度 市ホームページに物件を写真付きで掲載 本市の未利用財産の状況は、 令 和 財源

固 る山林の管理状況を伺う。 林の管理が必要だと考えるが、 河川流域の住民生活を守るためには、 本市が所有 山 す

> ず危険木の伐倒、最低限の枝打ちなどを行 風による被害木の倒木防止のため区域を問わ

枠組みを創設し対応すべきと考える。 増すのみであり、国県の枠組み変更、 本市の財政を圧迫する。現行制度では負担が 発生量が5%を超えると県の補助率が下がり

新たな また強

の確保はできなかった。

できるか検討していきたい。 分にできていない状況であり、 ないよう日頃の手入れが大切だが、 との相談や通報があった場合は、危険度の高 い順に伐採している。災害時に危険木となら 市長 市の所有林で倒木の危険性がある 引き続き何が 現状は十

害対策事業では、

要望額の7割の補助金額と 令和5年度の松くい虫被

農林水産部長

続けるが、現状をどう捉えているのか伺う。 今後も被害木を放置すれば、処理費用は増え 市民の安全を確保することが最優先と考える。

どのようなものか伺う。 新たな財源を創出していると考えている

の活用、 ライツ料などで財源確保に取り組んでいる。 られる。 ミングライツ、広告料、税外収入などが考え 市長 これまで風力発電事業での売電収入 令和5年度に制度化したネーミング 新たな財源としては、 新税、 ネー

森林環境の保全を

温少雨と前年被害木の切り残しにより、

令和5年度の松くい虫被害発生量

は、

害虫等対策事業では、切り残しも含め、 るべき数値目標の約3倍に増加した。



国県など

庄内海岸林松くい虫被害対策協議会の中では

対策を講ずるよう国県に要望していく。

るため、現行制度の予算確保とともに新たな

されることが課題である。この状況を打開す

たが、市の全額負担となるため事業量が限定 険木伐採のため新規に市単独事業を立ち上 害量は過去最大となった。令和6年度は、 なり切り残しが生じ、夏の高温少雨もあり

新政会

固

被災家屋撤去支援事業の経緯と対応は

被災者の生活再建や農林業、

商工

圕

障がい者雇用推進の

取り

組み

現状と課題は

大雨災害公費解体事業および大雨災害

業や観光業の事業再建に向けて、

県における



進藤 晃 議員







齋いた 藤っと 美 じ 田 き 議員













研市 究 会 政













がい者雇用の現状と課題、取り組みを伺う。 よび障がい者の就業機会の確保」における障 きるまち「働く女性の活躍促進、 の施策である地元でいきいきと働くことがで 備を挙げている。酒田市総合計画(後期計画) 整備」の中で障がい者が働きやすい環境の整 考える全ての市民が働くことのできる環境の なかった。市長所信表明では、「働きたいと 明や報告はあったが、 層の地元就職を図るための取り組みなどの説 令和5年度の主要施策の概要では、 障がい者雇用の説明 高年齢者お 若年 が

場面があった。その点では、

女性が帰ってき

要だと考えている。現状と課題を伺う。

市長

サンロクーT女子プロジェクトは、

でサンロクーT女子プロジェクトは、

大変重

たいと思える地元、職場や環境づくりのうえ

われ、 労施設からの物品調達の推進など、今後も 市庁舎で定期開催する「はっぴいバザー」の また福祉的就労工賃の向上も重要であり、 者就労活動活性化協議会などで情報交換が行 立支援協議会就労支援部会や庄内地域障がい を支援したい。福祉施策としては、酒田市自 ミナーの開催を予定しており就業機会の確保 新たな法定雇用率を達成すべく、企業向けセ を市内企業に周知を行った。令和6年度は、 を雇用する企業を対象とした各種助成金など 8 推進と工賃の向上に取り組んでいきたい。 催回数を増やし売上増に取り組むほか、 市長 就労先の開拓などに取り組まれている。 令和5年度は、 市広報で障がい者 本 就

は、

相談などの件数を参考に、

本市で受付をした住宅に関する

69件と見込んでお

大雨災害被災家屋撤去支

できる限りの支援を行っていきたい。

の強化などが必要と考えている。

こと、多様な業務をマッチングしていく体制

数が増え、これまで以上に業務獲得が必要な

ることも成果と捉えている。

課題

は、

ることで新しいコミュニティが形成されてい 就職したほか、自ら企画した勉強会を開催す 令和6年度は、新たに2名が県外IT企業に 市で生活しながらリモート勤務をしている。

定を受けた全12件、

災家屋撤去支援事業を提案した。

件数は、

業として一律の給付金を支給する大雨災害被

いるなどの声も多く聞こえたため、

市単独事

雨災害公費解体事業では罹災証明書で全壊判

公費解体制度の対象外となった被災者の中に

相談窓口などで半壊でも解体を検討して

の申請により本市が解体撤去の支援を行う。 書により全壊の判定を受けた家屋所有者から

サンロクーT女子として活動し、

計68名がS

令和5年度に—T基礎知識の講座を3期実施 択肢を得ることなどを目指す取り組みであり、 本市の女性がITスキルを習得し働き方の選

し計79名が受講した。年度末の時点で77名が

ている。また3名が県外ーT企業に就職し本 NS発信代行やウェブ制作業務などを受注し 実施する事業である。具体的には、

罹災証明

害等廃棄物処理事業費補助金を活用し本市が

市長大雨災害公費解体事業は、

国の災

対応予定件数を伺う。

するとしている。支援制度内容と経緯並びに 模半壊並びに半壊した家屋の解体撤去を支援 ものと考える。本市では、大雨災害公費解体

事業および大雨災害被災家屋撤去支援事業で

支援法の適用は、多くの被災者の支援になる 支援制度や国の災害救助法・被災者生活再建

全壊した家屋の公費解体や大規模半壊と中規

市 村 ら 浩う

くりが大切だとして既卒・現役高校生に聞く を積み、将来地元に戻り子育てや起業をし サンロクーT女子プロジェクト い。培ったキャリアを地方で生かせる環境: 決して地元が嫌なわけではなくキャリ 報道では、首都圏を目指した子どもたち

は、

することは必要なことと考えている。

ることから、

える効果があった。

大学が本市にあることに

地域に与える経済波及効果が認められ

本市として大学に一定の負担を

に経過年数を乗じると、これまで20億円を超

市議団 共産党



経済波及効果をどう分析しているの東北公益文科大学を誘致してからの

斎は 藤さら



周ひろし ▲動画はこちらから

常任委員会

常任委員会を開催し、 10 月7日に各常任委員会、 議案3件を審査しました。 10 月 10 日に総務

圕

県と本市を含む2市3町、

学校法人東北

か

公益文科大学は、

東北公益文科大学(以下:

ました。 から議第97号、 関する条例の制定についてのほか、 の提出期限の見直しに伴う関係条例の整備に 議第86号指定管理者が作成する事業報告書 議第13号の議案13件を審査 議第87

の一部改正についてを審査しました。 酒田市職員の勤務時間、 全会一致で可決すべきものと決定しました。 また、 審査の結果、 審査の結 10月10日に追加提案された議第121号 果、 原案を妥当と認め、 い ずれ も原案を妥当と認 休暇等に関する条例 全 会 致 め

民生

算出している。

その結果、

庄内地域への年間

の3つの視点で現在の大学の経済波及効果を

では、

教育・研究活動による効果、

教職員

公立化および機能強化の検討に係る基礎調査

とを示していると考えるが、

どのように分析

たことで、

しているのか伺う。

市長

令和5年度に県が実施した大学の

03%と高くなっている。これは大学を誘致し

本市への経済波及効果が大きいこ

割8割のうち、

本市の経済波及効果割が79

立化した場合の市町別財政負担割合は、

応益 公

書を交わし、公立化に向けて動き出した。 大学)の公立化と機能強化に関する基本合意

学生の消費による効果、

施設整備に係る効果

で可決すべきものと決定しました。

議案11件を審査しました。 号から議第10号、 管理条例の一部改正についてのほか、 議第98号酒田市とびしま総合センター設置 議第14号および議第15号の 議 第 99

円であった。

大学は、平成13年に開学して今

本市の経済波及効果額

うちで本市への効果は約79%、

10億4千50万

この

経済波及効果は13億2千30万円であり、

年で23年目となるが、

当と認め、 可決すべきもの、 否両論があり、 ました。 審査の結果、 全会一致で可決すべきものと決定 起立採決の結果、 議第105号および議第115 そのほかの議案は原案を妥 賛成多数で 号は賛

討論

反 対 討 論 共産党市議団

市 原 ほ

栄れ 子こ

議員

議第105号 酒田市国民健康保険条例の一部改正に

ついて

ずであり、その個人の自由のところで国 問題があると考え反対する。 カードと紐づけるのは、 国民が加入するものである。 により取得するものであるマイナンバ 民健康保険証がなくなってしまうことに 国民健康保険は国民皆保険制度の中 個人の自由の これを申請 で

議第115号

山形県後期高齢者医療広域連合規約 変更について の

移行によるものであるが、 否定しているのでは 今回の規約の変更はマイナ保険証 マイナ保険証を への

する。 があると考え反対 べての人が持ってい てしまうことに問題 る保険証がなくなっ なく、それによりす



を述べ、意見が違う議員の賛同を求めるもの。採決の前に、議員が議題に対して賛成または反対の意見※討論とは……

建設経済】

案9件を審査しました。第12号および議第16号から議第18号までの議例の一部改正ついてのほか、議第10号から議議第10号酒田市勤労者福祉施設設置管理条

全会一致で可決すべきものと決定しました。 審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、

予算特別委員会

ら議第85号の議案7件を審査しました。会計補正予算(第7号)のほか、議第80号か10月8日に議第79号令和6年度酒田市一般

解体に係る経費の計上が主なものでした。
正に伴う扶助費の増額、大雨災害による家屋財政調整基金積立金および児童手当の制度改財の調整基金積立金および児童手当の制度改善今回の補正は、前年度繰越金の確定による

の増額が主なものでした。設および公共土木施設の災害復旧に係る経費大雨災害に伴う対応経費の増額、農林業用施高裁判所裁判官国民審査に係る経費の計上、今回の補正は、衆議院議員総選挙および最

で可決すべきものと決定しました。 審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致

決算特別委員会

を審査しました。ほか、認第2号から認第9号までの議案9件田市一般会計歳入歳出決算の認定についての田月1日から4日に認第1号令和5年度酒

定しました。 当と認め、全会一致で認定すべきものと決定すべきもの、そのほかの議案は原案を妥論があり、起立採決の結果、賛成多数で認審査の結果、認第1号については賛否両

主な質疑

「総務部」酒田移住交流推進事業◎令和5年度一般会計

応はどのようにしているか。 その後の対問(お試し住宅を利用した方々へその後の対

強化事業 室総務管理事業、基本研修事業、防災対策 他の項目/広報広聴活動推進事業、市長公ながったかどうかをモニタリングしている。 不定期でお知らせしながら、その後移住につ ──新しい移住施策やイベント開催について

「企画部」デジタル変革事業

ているか。
問
費用に見合った効果をどのように検証し

いる。
り、将来的には効果が表れてくると認識してり、将来的には効果が表れてくると認識してイン化やRPAによる庁内業務の効率化による 郵便料金の値上げ等による通知のオンラ

ンガ製作活用事業、ミライニ管理運営事業文化資料館(仮称)整備事業、土門拳伝記マ受験生支援事業、デマンドタクシー運行事業:他の項目/大学まちづくり推進事業、大学等

地域創生部」観光戦略推進事業(新規

光にかかるコストが圧縮されないのか。

問 酒田DMOを立ち上げたことによって観

推進事業、企業立地促進事業、交流観光港、観光用自転車管理事業、酒田商工会議所光PR事業、鳥海山・飛島ジオパーク推進事者地元就職促進事業、ふるさと納税推進事業、若性活躍推進事業、ふるさと納税推進事業、友が削減されるとは捉えていない。

のロボットを使って自動化する仕組み※RPA…パソコンを使った業務をソフトウェア型

め

八幡·松山·平田地域振興事業 市民部」飛島活力再生推進事

ション型の募集は考えているか。 地域おこし協力隊の募集につい て、 ミッ

リーミッション型とあわせて両方とも継続し はミッション型の募集も実施した。 スマッチのリスクが少ないため、 ていきたい。 他 市の事例を見てもミッション型だとミ 令和5年度 今後もフ

圕 られるが、定員を見直す考えはあるか。 が必要な児童が年々増えているように見受け み減量化推進事業、コミュニティ振興事業 益活動推進事業、 他の項目/結婚推進支援事業、 イナンバーカード交付事務事業 「健康福祉部」児童発達支援センター管理事業 はまなし学園の実績を見ると様々な支援 空き家等総合対策事業、 市民協働 (新規)、 マ 公

した要因は何か。

事業、 助 支援事業 子どもの貧困対策推進事業、 事業(新規)、看護専門学校学生確保対策事 育所等補助事業、こども家庭センター運営 **他の項目**/子育てサポートプログラム実施 時考えていくべきものであると認識している。 状況は適切ではないため、 4 つどいの広場事業、 づくり除雪援助事業、災害時要援護者 業(新規)、飛島高齢者介護サービス支援事業) 成事業、 支援が必要な児童が入園できないという 生殖補助医療費助成事業、 敬老寿賀事業、 重粒子線がん治療患者支援事業 ほ っとふくし券事業 状況を見ながら随 骨髄移植ドナー やさしいまち 法人立保 <u>超難</u>

固

生活支援臨時給付金給付事業 得世帯支援給付金給付事業、 親家庭等医療給付事業、 センター運営事業、 達支援事業、 病児・ 子育て支援・ひとり 病後児保 物価 低所 高騰対策低所 育事 得世帯等 業 児

「建設部」新築住宅総合支援事業

した段階で追加募集できなかったのか。 固 補助金申請について、 キャンセルが判 萌

りだったため追加募集できなかった。 圕 他の項目/住宅リフォーム総合支援事業 「農林水産部」野生鳥獣農作物被害対策事業 キャンセルが判明したのが年度末ぎりぎ 昨年度の被害防止活動実績が格段に増加

要因である。 されるなど、 8 昨年度、 熊の出没が多かったことが主な 年度内に熊出没警報が2回発令

的機能支払事業 事業、地籍調査事業、 虫等対策事業、 急支援事業、 基盤パワーアップ事業、 他の項目/スマート農業推進事業、 栽培漁業等推進事業、 アメリカシロヒトリ駆除対策 耕畜連携推進事業、 豚熱ワクチン接種緊 産地生産 森林病害 多面

把握しきれていない。 体系で酒田に来たのかなどを把握しているか。 会に参加した方の宿泊状況やどのような交通 **「教育委員会」スポーツツーリズム推進事業** てできる限り把握したいと考えている。 つや姫ハーフマラソンやモルック全国大 様々なパターンがあるため全体の状況を 今後、 調査の実施も含

> 討事業 リア教育推進事業、第四中学校区学校統合検 談事業、中学生職場体験学習推進事業、 他の項目/外国語指導助手招致事業、 (新規)、 施設整備事業 (小学校 教育相 キャ

総括的質疑」

財政運営/経常収支比率の今後の展望は/青 今後の地方債発行の展望は/基金に頼らな 少年交流派遣事業の休止・廃止

○令和5年度特別会計等 定期航路事業特別会計

航率をどう評価しているか、 キャッシュレス決済の利用率は 職員配置体制は /定期航路事業所 /昨年度の 出

人事案件に同意

意しました。 育委員の任命について、 10月10日に提案された酒田市教育委員会教 議会は全会一致で

28日までです。 任期は令和6年11月29日から令和10 年 11 月



【教育委員会委員】 阿部浩氏

令和6年定例会 第3回7月臨時議会 議決結果

議案番号	件名	議決	結果
報第11号	専決事項の報告について(損害賠償の額の決定)	報	告
報第12号	専決事項の報告について(損害賠償の額の決定)	報	告
議第66号	令和6年度酒田市一般会計補正予算(第4号)	可	決

令和6年定例会 第4回8月臨時議会 議決結果

議案番号	件名	議決	結果
報第13号	専決事項の報告について (損害賠償の額の決定)	報	告
議第67号	令和6年度酒田市一般会計補正予算(第5号)	可	決
議第68号	令和6年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可	決
議第69号	令和6年度酒田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	決
議第70号	酒田市税条例の一部改正について	可	決
議第71号	酒田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可	決
議第72号	酒田市営住宅条例の一部改正について	可	決
議第73号	酒田市公共賃貸住宅条例の一部改正について	可	決
諮第 4 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同	意

令和6年定例会 第5回9月臨時議会 議決結果

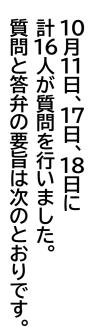
議案番号	件名	議決	結果
報第14号	専決事項の報告について(損害賠償の額の決定)	報	告
議第74号	令和6年度酒田市一般会計補正予算(第6号)	可	決
議第75号	令和6年度酒田市水道事業会計補正予算(第1号)	可	決
議第76号	令和6年度酒田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可	決
議第77号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定に ついて		決
議第78号	酒田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について		決

令和6年定例会 第6回9月定例議会 議決結果

議案番号	件名	議決	結果
報第15号	令和5年度酒田市一般会計継続費精算報告について	報	告
報第16号	令和5年度酒田市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報	告
報第17号	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の令和 5 年度における業務の実績に関する 評価結果について	報	告
報第18号	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の第4期中期目標期間における業務の実績 に関する評価結果について	報	告
認第 1 号	令和5年度酒田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認	定
認第 2 号	令和5年度酒田市定期航路事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	定
認第 3 号	令和5年度酒田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	定
認第 4 号	令和5年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	定
認第 5 号	令和5年度酒田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	定
認第 6 号	令和5年度酒田市風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	定

議案番号	件名	議決	結果	
認第 7 号	令和5年度酒田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認	定	
認第 8 号	令和5年度酒田市水道事業会計決算の認定について	認	定	
認第 9 号	令和5年度酒田市下水道事業会計決算の認定について	認	定	
議第79号	令和6年度酒田市一般会計補正予算(第7号)			
議第80号	6和6年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算(第1号)			
議第81号	令和6年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可	決	
議第82号	令和6年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可	決	
議第83号	令和6年度酒田市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	決	
議第84号	令和6年度酒田市風力発電事業特別会計補正予算(第1号)	可	決	
議第85号	令和6年度酒田市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可	決	
議第86号	指定管理者が作成する事業報告書の提出期限の見直しに伴う関係条例の整備に関する 条例の制定について	可	決	
議第87号	酒田市土門拳記念館設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第88号	酒田市美術館設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第89号	酒田市松山歴史公園設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第90号	酒田市公民館設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第91号	酒田市ひらた生涯学習センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第92号	酒田市ひらた農村コミュニティカレッジ拠点施設設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第93号	酒田市出羽遊心館設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第94号	酒田市公益研修センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第95号	酒田市清亀園設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第96号	酒田市体育施設設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第97号	酒田市平田B&G海洋センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第98号	酒田市とびしま総合センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第99号	酒田市青沢克雪管理センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第100号	酒田市コミュニティセンター設置管理条例の一部改正について		決	
議第101号	酒田市交流ひろば設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第102号	酒田市身体障害者福祉センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第103号	酒田市健康センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第104号	酒田市中町にぎわい健康プラザ設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第105号	酒田市国民健康保険条例の一部改正について	可	決	
議第106号	酒田市八幡交流ホール設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第107号	酒田市勤労者福祉施設設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第108号	酒田市山王くらぶ設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第109号	酒田市公園会館設置管理条例の廃止について	可	決	
議第110号	酒田市農林研修施設設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第111号	酒田市悠々の杜活性化施設設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第112号	酒田市農村環境改善センター設置管理条例の一部改正について	可	決	
議第113号	物品の取得について(校務用パソコン)	可	決	
議第114号	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構定款の一部変更について	可	決	
議第115号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可	決	
議第116号	損害賠償の額の決定について	可	決	
議第117号	令和5年度酒田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可	決	
議第118号	令和5年度酒田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可	決	
議第119号	酒田市教育委員会委員の任命について	同	意	
議第120号	令和6年度酒田市一般会計補正予算(第8号)	可	決	
議第121号	酒田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可	決	

般質問とは… 市政全般に関する状況や 方針を質問し、報告や 説明を求めたり、疑問を 明らかにするもの。





体 7月大雨災害の被災者支援 制と今後の方向性は

安^あんとあると **浩**なる **大**お 議員

て大きな悩みは、 や住宅、 可欠と思うが考えを伺う。 家屋の解体費用である。 した。特に、住宅被害にあわれた被災者にとっ 7 月 の 河川、 大雨により、 農業などに甚大な被害が発生 住宅再建、 負担の軽減が必要不 ライフラインの崩 新しい住ま

を軽減することができると考えている。 て活用することにより、 による大雨災害被災家屋撤去支援事業を併せ 市長 国の公費解体事業と市の単独事業 被災者の方々の負担

を伺う。 圕 と協力して改良復旧工事が必要であるが対応 のかさ上げ、 被害の大きかった荒瀬川、 浚渫、 川幅の拡張など、 日向川の堤 国 県 防

問

きたい。 く地元説明会を開催するよう県に要望して 鋭意進め 4 市長 て 県 いると伺っている。 から本復旧の工事発注に向けて できるだけ早

考えるが考えを伺う。 負担が伴うが、 今後、 農地の再生、 最小限にとどめる事が重要と 復 旧には時間と農家

市長 一歩ずつ進めていきたい 各種支援制度を適切に説 明 なが



本市の状況と対応は外国人労働者雇用についる働き手不足による



般 質問

リボン運動を周知拡大する意思疎通しやすい窓口へ、軟骨電動イヤホンの導入で /運動を周知拡大するために





25大雨災害からの 復興を目指して

遠ん 田 た 敏に 子: 議員

だくことが重要である。 旧にかかる補助率が引き上げられる。 でいかれるのか伺う。 ては中長期的な復旧・ 管理する道路、 を指定した。これにより公共施設や農地の 崮 この度の大雨災害に政府は 河川、 橋梁、 復興計画をお示し どのように取り組 林道などについ 「激甚災害 市

設置訓練の 活再建支援、被災者や地域との話し合い、 進捗をしっかりと管理しながら、 づき、各部署で行っている復旧・ するため復興方針を策定する。 民への情報発信をこれまで以上に行っていく。 副市長 避難所の運営マニュアルの更新と避難所 重要性について伺う。 今後の復興のビジョンを明 その 復興事 被災者の 方針に 業 確 生 の

更新、 ていただくよう各コミュニティ している。 練については、 に、避難所の開設、運営を含む設置訓 副市長 改訂を行っていきたい。 より実態に即した実効性のあ マニュアルは、 酒田市一斉総合防災訓 今回 避難 振興会に依頼 の 練を行 所設置 災害を る内容に 練の 訓 教

質問

表題以外の質問はありません

▲動画はこちらから

質問

水本

,門管理の課題-市の水門の管理状況



地方と国は対等関係から |従関係に代わるのではないか

斎藤 周

だ。 圕 等という関係から主従関係に代わってしまう どがある。 はどう捉えているのか伺う。 のではないかと懸念するものだ。 現行制度の中では、 治法という一般法に「指示権」が設けられた。 から独立した機能を持つ団体自治と住民自治 指示する規定は、災害基本法、感染症予防な 指示」が設けられたことで、 今回その地方自治法が改正され、 地 方自治の本旨」とは、 今回は地方自治法という一般法に 自治体に具体的な対応を 国と地方は対 自治体が政府 地方として 地方自

つ、 だけでは対処し得ない緊急事態が発生し、 関係に代わるものではないと考えている。 て国の指示権を認めたものであると理解して かった場合という極めて例外的な場面に限っ その事態を個別法において想定していな 総務部長 国と地方との関係が対等関係から主従 今回の改正は、 地方公共団体 か



本市の観光誘客の推進は

冨と 樫し 覚さる 議員

と考えるが所見を伺う。 市街地、中心市街地の再興の糸口になるもの アップが必要と考える。そのことによって旧 歴史文化を体験してもらうにはブラッシュ り多くの文化歴史が集積している。観光客に 本市の旧市街地には観光スポットもしか

ものと考えている。 地のさらなるにぎわい創出につながってい り観光スポットを磨き上げ、 **(2)** た事業展開や多面的な紹介の仕方などによ **地域創生部長** よりターゲットを明確に その結果、 市街 <

a 効果の計測の必要性について考えを伺う。 る施策を打ち出さなくてはならない。 析し課題を見つけ、さらなる経済効果が望め 固 どれだけの経済効果があったのか計測分 費用対

を考えていくこととしている。

が取り入れられるか検討していきたい。 認識しており、どのようなデータ収集の方法 基づく定量的な効果測定の仕組みが必要だと 事業については測定できていない。 済効果を測定した例があるが、 地域創生部長 クルーズ船誘致に係る経 ほかの多くの データに



~竹田排水機場改良の必要性は~ 令和6年7月の大雨災害

佐さ藤と 伸ん 二じ

流域治水としてどのような対策ができるの 期や最上川の河床掘削などについて国にお願 機械の復旧や機能向上などをはじめ、 設の改良が必要と考えるが所見を伺う。 線状降水帯へ対応できるよう、老朽化した施 ず停電も重なった結果、ポンプが故障し内水 史上最大の雨量が記録され、 を強いられた。築57年を経過し、現代の豪雨・ ち4戸の床上浸水が発生し、長い避難所生活 氾濫が発生した。竹田自治会では全65戸のう いしていくとともに、国・県・市が連携し 市長 今回の災害で松山地域 市としては、市民が要望している では24時間で観 排水が追い付か 復旧 時 て

考えを伺う。 線のように個別に直接連絡できれば早めの避 圕 被害の回避・軽減に繋がるのではない 住民 への周知に関して、 かつての防災無 か。

カーからの放送は、天候などにより聞こえに お願いしたいと考えている。 くい場合があると認識している。 で防災情報を入手できるよう、 市長 防災行政無線屋外子局のスピ 日頃の備えを 複数の手段



表題以外の質問はありません





教訓 7月25日からの大雨災害を として

議員

後ご 藤ご 泉ずみ

伺う。 ず機能しなかった。 災ラジオを利用し発信することはできないか 圕 オ・スマホで受信できたが、 大 雨 の中では防災行政無線はよく聞こえ 緊急な情報は防災ラジ ほかの情報も防 圕

圕 ば根本的な河川改修が必要と思うが、 マッ 河川計画作成に当たっては、 が所見を伺う。 常放送の Mハーバーラジオとの連携を密接にして、 まった。 いただくよう積極的に要請していきたい。 市長 プの想定を超えた被災区域となっ 今回の災害は洪水・土砂災害等ハ 早急な見直し改定が必要と思われる 番組の中で防災情報を適時放送して 今回 また荒瀬川の被災状況を見れ 「の災害時と同様に、 地域の 意見など 今後もF 併せて 、ザード て 通

県と調整し、 されるよう、 ている。 マップの見直しは急務であると考えて 市長 地域住民の意見が計画に適切に反映 洪水・土砂災害などの 早急に改定していきたいと考え 今後県に対し働きかけを行って /\ ザ おり、 Ī ド



応は〜堤防整備と河川改良復旧を早期に〜 令和6年7月25日からの大雨による災害対

佐さ藤ら 喜いましのり 議員

視、 るが市の考えを伺う。 備と河川の改良復旧を早期に行うべきと考え ない状況にある。 把握するとしているが、 系河川整備基本方針では、 刻な被害が出ている。 相次いで発生し、 ない大雨に見舞わ 発令されるなど、 たは軽減として、 点検をきめ細かく実施し、 災害当日は、 巡視、 住宅・ 樹木伐開、 ħ 大雨特別警報が1日に2回 県が作成した日向川 日向川水系では溢水 までに経験したことの 堤防もなく車も通 点検のできる堤防整 農地・家財などに深 災害発生の防止 堤防の整備 河道の状態を れ 巡 ま 水 が

と考えている。 めて市としても強く働 要だという声が届 ると伺っている。 害査定に向けて様々な方法で調査検討 使えるような道路ではなかったため、 るが雑木林になっており、 建設部長 堤防のような形のところは 庄内総合支庁にも堤防が必 いているとのことだが、 きかけをしていきたい 管理用道路 県は災 けてい として 改 あ

を反映してほしいが所見を伺う。



足りない事態が! 2年連続の酒田産米が

松まった 本と 国 博る

を がっていく要因となりうる。 生産数量、 て他県の様に主食用米を増産するような数: 2か年連続の収量減は、 に令和6年水稲も庄内は指数9の不作である。 安は同数値とされ私は不服であった。 なった。 ふるさと納税返礼品 ていただきたいが所見を伺う。 「県の農業再生協議会」の会合で強く主 令 和5年産米の それでも令和6年産の県の米生産目 いわゆる生産の目安がさらに下 の米が足りない 等米比率低下によ 全国における県の米 令和フ年に向け · 状況 結果的

かりと行っていきたい。 にもつながるため、 えることは、本市の生産の目安が増えること 農林水産部長 引き続き働きかけをしっ 山形県の生産の目安が 増

圕 い農地の対応を伺う。 大雨による災害で次年春に作付け出来

酒田市農業再生協議会の中で検討したい。 田市農業再生協議会に裁量があるとのことで できない農地と同様の取り扱いができない ある。通常の圃場整備が行われていて作付け 農林水産部長 国 県に 伺つ たところ酒 か



般 **質**問



▲動画はこちらから 質問

題以外の質問はありません



表題以外の質問はありません



質問

守る取り組みは内水氾濫から市民の生活を



被災市民の生活とコミュニティ 確保をどのようにしていくか

市 原 ほ **栄**れ 子こ 議員

どのみなし仮設への移動を行っている。 などへの公営住宅や民間アパート、 始まっている。 体が被害にあっている。 活についての対応を伺う。 あると言われている。 また災害復興でコミュニティの維持が必要で 復興での被災者の孤立、 への災害復興住宅の建設ではなく、 避難所から避難住居へ移動し、 のコミュニティの中で暮らしてきた方たちが よる浸水、 今 回 の災害で土砂の流入、 内水氾濫による浸水など、 今回の災害で本市は、 被災者の避難先での生 そうした中で昔から 孤独が問題である。 新しい生活が 河川の氾濫に 空き家な 市営住宅 被災者 集落全

るよう、 携しながら被災者の生活再建が進むよう支援 ターを設置することとした。 で孤立せず、 **a** していきたい。 副市長 被災者の生活状況や健康状態、 支援方針の検討、 関係機関へつなぐなど、 酒田市生活支援・地域支え合いセン 少しでも安心できる生活が営め 被災された方がそれぞれの環境 見守り、 訪問などを実施 関係機関と連 声 かけ、 課題の把 相談



にぎわいの拠点に いろは蔵パーク」 を

累加降水量400

mm

に

対応する内

水氾

濫

の解消策

田た

中斉

議員

後三 藤さ 仁なから 議員

7 月 25

日の大雨で夜半に最上川

(下瀬

京田川

5.4 m

で氾濫危険水位を越え、

京

ろは えているか。 共存して酒田ににぎわいを創る方策をどう考 蔵パーク」 令和7年3月に酒田商業高校跡地に がオープンする。 山居倉庫と

なり、

浸水被害も拡大した。

道路浸水センサーの増

住宅・

車両 水田

は の

3日間冠水して収量は2割に、

田川の袖浦排水機場も河川増水で排水不能と 雨水を最上川に送る宮野浦雨水排水場も、

排水機周辺で内水氾濫が拡大、

華の館、 努めていきたい。 観 を用いて、 いる。 信していると言えない状況にあると認識して 現 . ーク_ 光物産協会などと連携を図りながら周知に 在山居倉庫 地域創生部長 市広報やホームページなど様々な媒体 芳香亭がどうなるのかなどが十分発 がどのようにすみ分けられるかや、 市民の理解が深まるように、 の観光物産館 山 居倉 にあ 庫 غ る、 い 幸の館 ろは 酒 田 蔵

削

河床掘削して、

岸のゴルフ場脇の巨大な三角州まで河道

排水ポンプ場の強化とともに、

最上川左

所見を伺う。

市長

近年の気候変動の影響による水災

頻発化を踏まえ、

国

•

県 •

市 が る対策を国・

県と連携し急ぐべきと思うが、

最上川の流下能力を上げ

圕 整備計画はどのようになっているか伺う。

度 **a** い る。 までの3か年をかけて策定する予定として 地域創生部長 令和5年度から令和7年

> 協働して、 害の激甚化、

流域全

では。 とが大切であると考えてい 固 してもらう必要があると思うが所見を伺う。 携しながら、 文化政策調整監 山居倉庫整備には、 長くかかるとすれば市民に説明し理解 経過をきちんと伝えていくこ 教育など様々な部門と 30年ぐらいかかるの

携して取り組

んで

いく必要があると

推進していくため

関係機関と連

水位危険度レベル

である流域治水を

層的な水災害対策 体で総合的かつ多

洪水時の水位と避難

考えている。

0



▲動画はこちらから

田沢川ダム緊急放流 最上川遊摺部越水」 大さと対 報



の

般 **質**問

負担をゼロにしない理由は復旧を急ぐべきだが地権者大雨と流木の被害農地の

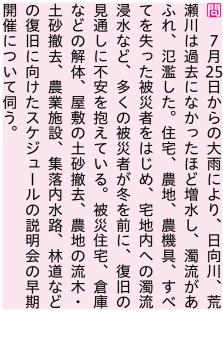


早めの避難を心掛けましょう



〜災害復旧に向けたスケジュールは〜 7月25日大雨災害対応

後ご 藤うひらく



9月に行った農業用機械の復旧に係る支援制 先度について意見を交わしていきたい 今後も順次開催する予定であり、 度の相談の場においても相談対応を行った。 各種災害復旧事業の制度についてお知らせし、 4 を伺う。 被災者支援制度の内容の周知徹底の方策 負担の在り方や復旧の時期、 農地の復旧については、 繰り返し丁 8月に 優

をはじめ、 るようにしていきたい。 コミュニティセンターなどへのチラシの配置 農林水産部長 様々な媒体を使って広く周知でき 広報や農協、 総合 支所



充実に向けて 中学校部活動指導員の

齋さ 藤さ 美』 昭ま 議員

また、 考え方、取り組みについて伺う。 部活動指導員の在り方、充実に向けた本市 えるが、「スポーツ・文化活動支援事業」の の連携も課題である。 行においては土日が主であるが、 充実を図ってきているものと認識している。 に向けて、 る部活動指導員の配置支援事業」 導員は重要な位置を占める大事なピースと考 スポーツ庁、 現在取り組まれている部活動の地域移 配置数の増員など予算を増額 文化庁では そこで、この部活動指 「中学校におけ 今後平日と の事業拡充 の

考えている。 退職教員、 の登録の周知を行うとともに、各協会や連盟 考えている。 方に指導ができる人材の発掘が課題であると きる部活動指導員を確保するため、 行を進めており、 しているスポーツ・文化サポーターバンクへ 元の大学生などへの働きかけが必要であると スポーツに親しんでいる若者、 課題解決に向けて、 現 在、 今後は平日を中心に活動で 休日の部活動の地域移 本市で実施 平日のタ 地



防 防災行政無線と 災ラジオの在り方は

田 中廣 議員

含め、 ピーカーから流れてくる放送は、 用を図るべきであり、どこまでできるのかを き取れない。危険性がある場合には、 圕 いて伺う。 定のことであっても防災ラジオの積極的 豪 防災ラジオの運用基準・ 雨 や強風 の時は、 防災行政無線 放送基準に ほとんど聞 地域 の

ているものではない。 ため、 ラジオの通常放送に割り込んでの放送となる 危機管理監 運用基準を決めて放送の有無を決定 防災ラジオはFM ハーバ

ている。 との声が、 何のために防災ラジオを設置したのか解らな いとの声もある。 積極的な情報発信ができな 市の考えを伺う。 地域の代表者会議や住民からも出 個別受信機に戻してほしい いのであれ

届かない地区への戸別受信機の再配備を検討 していきたい。 このたびの災害を受け、 かつ分かりやすい情報発信に努めているが、 ラジオのほかにもあらゆる手段を使って迅速 緊急時においては、 危機管理監 市の情報発信の考え方とし 防災行政無線と防災 防災ラジオの電波が



表題以外の質問はありません



質問

活動改革との連携の課題



豪雨災害 令和7年度施策の方向性、市長就任一年間の振り返り



暂問

さらに稼ぐ酒田DMO

▲動画はこちらから

質問

対応する人員配置災害時等緊急事態に



中心市街地における「食料品 アクセス問題 の現状は

市 村 ら 浩ういち 議員

の対応は。 本市の「食料品アクセス問題」の現状と今後 様の課題を抱えているものと認識している。 なっており、 難民」「買い物弱者」が増えてきている。「食 みならず中心市街地においても、 料品アクセス問題」として社会的な課題に 心に食料品の購入などに不便を感じる どの 商店街の衰退などにより、 地域でも、 本市の中心市街地においても同 人口減少や地元小売業の 高齢者を中 過疎地域の 「買物

境の利便性については、 ろ具体的に困っているという状況ではないが 4 の声を拾い上げながら継続して検証していき くると考えられるため、 化などに応じて対策を講じる必要性も生じて るという声が多かった。 将来的に5年後や10年後の環境を心配してい 市民部長 ヒアリングの結果、 引き続き市民の相談 今後、社会情勢の変 中心市街地の買物環 今のとこ

圕

何ができるのかを考え、これまでの経験と全 国の例を踏まえながら検討していきたい。 地域創生部長 行政として何をすべきか、



職員の採用の見通しは本市の職員定数と技能労務

武 田だ 恵 子こ 議員

になっているのか。 が52人もいる。この割合は行政執行を進める 方で定数外職員、とりわけ会計年度任用職員 和5年4月1日現在、 きた結果だと、その努力に敬意を表する。 年々減ってきている。 上で適切なのか。 令和5年度決算資料によれば、 本当の意味での人件費削減 何年もかけて減らし 定数内職員は85人、 職員数は て

いる。 費の抑制にもつながっているものと認識して により適正な職員数に努め、 「酒田市職員数適正化方針_ その結果、 人件

a

度任用職員の配置などにより対応していく考 る配置ではなく、 識しているが、常勤正職員の新たな採用によ の業務は学校にはなくてはならない存在と認 のではと危惧する。 員は本市の小中学校からいなくなってしまう えである。 不補充としてきた。定数内職員の技能労務職 総務部長 技能労務職員を20年以上にわたって退職 学校における一般技能労務職 他からの配置替えや会計年 採用の検討はできないか。

Diary 千番十二 士士

73	一	野口芯 🦳
7	2 日	議会改革推進特別委員会
月		全議員勉強会
	5日	総務常任委員会管内視察

,	Z		玉刀 🛏 🖦 🚄
	7	2 日	議会改革推進特別委員会
	月		全議員勉強会
		5日	総務常任委員会管内視察
		8日	各常任委員協議会
		9日	議会運営員会
		10日	7月臨時議会
			本会議
			予算特別委員会
			議会運営委員会
			議会報編集委員会
		18日	議会報編集委員会
		30日	全議員勉強会
			議会改革推進特別委員会
	8	6日	各常任委員協議会
	月	8日	民生常任委員協議会
			議会運営委員会
		9日	8月臨時議会
			本会議
			各常任委員会
			予算特別委員会

	9日	議会運営委員会
	28日	全議員勉強会
		各常任委員協議会
	29日	議会運営委員会
9	3 日	9月臨時議会
月		本会議
		総務常任委員会
		予算特別委員会
		議会運営委員会
	17日	各常任委員協議会
	19日	議会運営委員会
	20日	民生常任委員会意見交換会
	25日	9月定例議会(~10/18)
		本会議
		議会運営委員会
		建設経済常任委員協議会
		建設経済常任委員勉強会
	30日	本会議
10	1日	決算特別委員会(~4日)
月	7日	各常任委員会

10	7日	建設経済常任委員勉強会
月	8日	予算特別委員会
		議会運営委員会
	9日	各常任委員協議会
	10日	本会議
		総務常任委員会
		予算特別委員会
		議会運営委員会
		議会報編集委員会
	11日	本会議
		議会運営委員会
	17日	本会議
		総務常任委員協議会
		議会改革推進特別委員会
	18日	本会議
		建設経済常任委員協議会
	29日	総務常任委員会管内視察
		総務常任委員勉強会

皆さんの傍聴をお待ちしています。

がんばれ!! ランマーレ山形女子バレーボールチ



令和6年10月12日にバレーボールの国内最高 峰SVリーグが開幕したことから、「酒田市議会ア ランマーレ山形女子バレーボールチーム応援議 会」を開催しました。酒田市議会としても、アラン マーレ山形のSVリーグでの活躍を期待するととも に、より一層、市を挙げて応援する機運を高めて いくために議員及び執行部全員が応援ユニ フォームを着て本会議を行いました。(10月10日)

編集後記

多くの場合、議会は行政当局が提案する 条例案を審議し、成案することで立法府の 役目を果たしていますが、それだけでは物 足りないと思っていました。議会主導の条 例をつくりたかったので、30年前からそれ に取り組んで8本の条例をつくりました。そ のうちの1本が「酒田市公益のまちづくり条 例」です。矢口市長が東北公益文科大学の 教授時代でしたので、アドバイスをいただき ながらつくった条例です。

議会や議員の役割とは、本来こういうもの だと思っています。議会や議員がこのことを よく理解して取り組んでいかなければ、市 民からの信頼は勝ち取れないのではないか と思います。(富樫幸宏)

酒田市自治会連合会の皆さまがいらっしゃいました



個人11名、団体16名 計27名

12月定例議会のお知らせ

- 議会日程 ……… 12月2日~12月13日
- ●代表質疑 ························12月 4日
- **●常任委員会………………12月 5日**
- -般質問 ………12月11日~13日

※日程は変更になる場合があります

表紙写真説明



「新雪を纏う鳥海山」

場所は、鳥海山湯の台口登山道の河原宿 です。この年は11月に入っても鳥海山の積 雪も少なくて、かんじき無しで河原宿まで行 きました。雪が少し積もった河原宿で、石仏 があることにこの時初めて気づきました。

高谷 勝巳氏 撮影

議会報編集委員会

委員長 洋平 遠田 敏子 大壁 齋藤 美昭 富樫 幸宏 副委員長 伊藤 欣哉 武田 恵子 後藤 啓 周 斎藤

※市議会だよりに対するご意見・ご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。